



ゆずりはの森から

第153号
2016年1月11日発行



NPO法人
ゆずりは学園

小学生

中学生

高校生

大学生

社会人

中学なんて

1日も楽しいと思つたことはない

成人式に話してくれた言葉

ゆずりは学園でも成人式を行っています。一人また一人と地元の成人式を終えた成人が学園に来ます。きれいな振袖を着ています。なつかしい再会です。「結婚したよ」と教えてくれました。

そんな中で一人の成人が、「やっと、20歳になつたけどね。あの頃を思い出すと、なんでそんなに悩んでいたらうとと思うけど、その時はとにかく朝が嫌だった、学校にいる時間はとにかく長く感じられたと話し始めました。いじめ自殺が多いね、特に今日の中日新聞の重大なはじめの話題の中で、大人が考えるいじめと子どもが感じるいじめとは違う」と話してくれました。

小学校の6年ころから始まつた。はじめ最初は洋服派手たねくらひから始まつて、「何あの子」と言つ言葉になり、グループの一人が無視始める



1月10日 ゆずりは学園成人式

と、すぐ全員の無視になった。中学に行くとき、そういうのがもっと激しくなつたね。朝の先生がいない読書の時間なんか、ノート集めていかなんだけ、自分のだけ集めていかなんだけ、給食の時間もみんなは机を合わせるけど、私はいつも一人。体育祭も相手が多かなくなつた。教室で紙が回され、自分のことが書いてあるのは分かるけど、みんな私を見るだけで、笑つたように回している。先生は何も言わないのが辛かつたね。中学2年になつたら、優しい子、口が弱い子、先生にすべちくる子、おとなしい子、ばしりにされる子、クラスの中に固定されていったね。「あんなんか死んでもいい存在」と言われた時は、もう学校に行くなんていじめにあつたために行かなくなつた。陰湿な仲間外れはとも辛かつたね。今いろいろなところでも自殺してしまう子がいるけど、本当によく分かるよ。だつて、学校に行けという親なんか、顔も見たくなかつたしね。苦しい気持ちなんか分かつたけれど、授業中、消しゴムはちぎられて投げつけてくるし、先生が見ると、やめて黒板の方を先生が向いて書いている時にやってくるしね。中学1年でリスカも始めたし、首をつつたら、死ぬるかなと思つたし、とにかく状況から逃げたかつた。中学3年は1日も学校に行かなかつた。熱は出るし、おなかは痛くなるし、親もあきらめ

ゆずりは学園のことだつて、友達が教えてくれたから分かつたけど、学校の先生は「お前の行く学校はない」と進路なんてきちんとしてくれなかつた。

学校なんて、特に中学は1日も楽しいと思つたことはなかつた。話してくれました。優しい彼氏と来ました。「今は分かつてくれる優しい人がいるから、すごく幸せ。家を探して一緒に住みたいと思つていこう」とその彼氏も「僕は中学1年の8月から学校に行つていないんです。毎日働いて、独立して仕事をして、彼女を守り

若者の自殺に思う

自殺の原因を探る傾向があります。何が原因か？いじめではないみたい？家庭内も問題？何が原因か、その原因探しに時間がかかります。死を選ぶまでの過程には、実にさまざまなきっかけがあります。「いやいや」ではない、また「このことが一番その子ども達にとって、最後のスイッチになるのかは、本当にたくさんあります。苦しい時間は長かつたのは、どの子どもにとっても同じです。家族に言えないからまた苦しいのです。友達にからかいを受けていた時間は、明日の登校なんてどんなに苦しいか

多くの仲間からからかいを受けていた子どもは教室は地獄です。ラインでいじめられていた子どもは、すべての大多数の人が敵になります。学校の先生にすべて頼る親も味方ではありません。

私はいつもこうした悲しい事件をニュースに見るたびに、何が原因かと原因探しに走るのではなく、学校現

たいという青年は、「学校の先生とどうしても合わなかつた」と言つた。この事件が起きて、「絶対、これをやったのはおまえだろう」と、なんかその時、もう学校に行くことはいやだと思つたと話してくれました。

今日の中日新聞で、沖繩の小学4年の男子の自殺について第三者委員会は「自殺につながるような重大ないじめは、現時点では確認されていない」との記事は、無責任な軽い言葉だと私も思います。

第三者の言葉です。直接子ども達の心に聞いてほしいと思つています。



場に家庭内に、どう言っても達を教員が親が大人が考えなくていい、次の子どもが死を選ぶのを止めることに時間をかけてほしいのです。

いろいろな講演に出かけ、「生きにくく」「子ども達が多々いること」を話します。名古屋の地下鉄の事件では、昨年の4月に転校した生徒だった女です。不登校の生徒のための学校です。先生たちも一生懸命やっていたことを知っています。それでも子ども達の心の奥の声を聞くことが出来ないこともあります。

今までの方法では、何か違うこともあります。子ども達のいろいろなケースに全て向き合つるのは、難しいです。向き合つていこうと思つても、向き合っていないことがあります。誤解も多々あります。

もつと、私が力ないばかりに自殺させてしまった少女の命日がきます。成人式の壁に向き合う時に自殺した青年も、この1月です。卒業式、卒業式、成人式、どれも生きにくい子ども達にとっては、また苦しみの時間が始まるのです。何が苦しいのか、子ども達一人ひとり全部違うのです。気にしなくてもいと言われても、

東日本大震災 NPO法人 ゆずりは学園 5年目に入る震災支援

2014 [4年目]



- 1/13 ●衣類 宮城仮設住宅
- 2/16 ●野菜 福島仮設住宅
- 3/15・16 ●田原の道の駅さんの協力でキャベツ450ケース、ブロッコリー120ケース、お米900キロ、そのほかの野菜、果物130ケース 仮設住宅(宮城、岩手、福島)
- 4/23 ●布生地 福島仮設住宅
- 5/1 ●甘夏みかん 仮設住宅(宮城、福島)
- 5/10 ●夏みかん、タマネギ 福島仮設住宅
- 6/9~12 ●宮城、福島へ訪問支援(野菜、おもちゃ)
- 6/21 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 7/9 ●ドライフルーツ 福島仮設住宅
- 8/18 ●そうめん段ボール5箱(長仙寺・医王寺より) 福島仮設住宅
- 9/25 ●夏野菜 福島蓬萊若枝幼稚園
- 10/25 ●甘柿 福島蓬萊若枝幼稚園
- 11/21 ●キャベツ100個 福島仮設住宅
- 12/4 ●みかん段ボール(各)10箱 福島仮設住宅、福島さくらみなみ保育園



2015 [活動報告]



- 1/6 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 2/24 ●ふわふわソックス 福島仮設住宅
- 3/15 ●キャベツ 530ケース、ブロッコリー 60ケース、お米 650kg その他野菜・果物 90ケース 福島県福島市 蓬萊仮設住宅 他仮設住宅(約1,100世帯) 他
- 6/13 ●梅2箱 福島仮設住宅
- 8/20 ●そうめん段ボール6箱(長仙寺・医王寺より) 福島仮設住宅
- 11/20 ●米・かぼちゃ 福島仮設住宅
- 11/28 ●レタス・米 福島仮設住宅
- 12/1 ●みかん 福島仮設住宅 保育園



お知らせ

自閉症・アスペルガー等の「発達障害」の子を持つ親の会
ゆずりはの会 (168回)
○日時/1月8日(金) PM1:30~3:00
○場所/ゆずりは学園
(毎月第2金曜日 2/12・3/11・4/8)

ゆずりは学園事務局
〒441-3421 田原市田原町池の原15-3
TEL:0531(22)3515 FAX:0531(22)7761
e-mail:kutsuna_ike@yahoo.co.jp
http://www.yuzuriha-gakuen.com/
http://ameblo.jp/yuzurihaschool/
http://ameblo.jp/kutsuna-diary/

